

2023年1月31日

台湾日酸 頭份・台南両倉庫が行政院環境保護署より各賞受賞

日本酸素ホールディングス(株) (社長 CEO: 濱田敏彦) の台湾事業会社である台湾日酸股份有限公司 (以下: 台湾日酸 董事長兼總經理: 梅津 公洋) は、台湾の行政院環境保護署より、頭份倉庫が「地域連携防災組織 運用優秀賞」を、台南倉庫が「連携防災組織 実地訓練優秀賞」を受賞しましたのでお知らせいたします。

記

半導体産業の目覚ましい発展を背景に、台湾では原材料となる様々な化学品の種類及び消費量が急激に増加しています。現在台湾政府はこの状況を踏まえ、それら対象品の輸送・貯蔵・消費などあらゆる取扱いの規制強化を進めています。

そのような経緯のもと、行政院環境保護署(EPA)および地方政府環境保護局(EPB)が主体となり、その基本となる法律「毒性及び関連化学物質管理法」の啓発活動の一環として、2022年11月29日台中市の Truelove Garden Hotel(台中臻愛花園酒店)にて「2022年度全国環境事故事例検討会」が開催され、これら化学品を取扱うおよそ200社が招致され、その冒頭での表彰式において、台湾日酸は以下の2賞を受賞し、それぞれ盾を受領しました。

1) 頭份倉庫: 「地域連携防災組織 運用優秀賞」(6地区において17社が受賞)

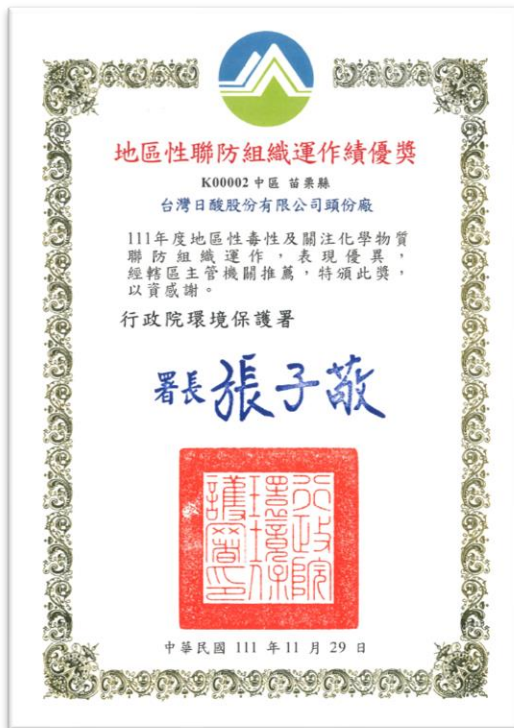
行政院環境保護署(EPA)は、「毒性及び関連化学物質管理法」及びその関連法の規制強化に伴い、取扱いに係る業者に対して異常発生時に、関連する各社で連携して十分に対応できるよう、必要な備品と人員体制を整えること、知識を習得することを要求しています。頭份倉庫は、長年の材料ガス取扱いの経験をもとに綿密に立案したそれらの計画を確実に実行したことが評価されました。

2) 台南倉庫: 「連携防災組織 実地訓練優秀賞」(5地区において27社が受賞)

地方政府環境保護局(EPB)では、同関連法の規制強化に伴い、地方組織が管轄する各地において「非常時想定訓練」を詳細な予告なしに実施し、各社による防災組織の連携状況や各構成員の対応の質を評価しており、台南倉庫はその訓練で優秀な成績をおさめました。

台湾日酸は、日本酸素ホールディングスグループの台湾におけるエレクトロニクス事業を担う事業会社であり、特殊ガスの安定供給のため、頭份および台南に倉庫を配置し、サプライチェーンを構築しています。特殊ガス事業部物流部門の最重要項目である遵法・保安活動に今後も鋭意取り組んで行くとともに、このような高い評価をいただいた当社の保安管理能力を貴重なリソースとして、より多くのお客様へ安全・安心をお届けできるよう引き続き努力してまいります。

以上



頭份倉庫が受賞した「地域連携防災組織 運用優秀賞」の賞状



台南倉庫が受賞した「連携防災組織 実地訓練優秀賞」の盾

お問い合わせ先

日本酸素ホールディングス株式会社

広報部

03-5788-8513